

第1回地域振興会議西ブロック合同会議議事概要

日時：平成28年7月13日（水） 午後2時00分～4時10分

会場：青谷町総合支所 多目的ホール

鹿野地域振興会議

【出席委員】

田中文字子、筒井洋平、乾隆史、廣田敬祐、山下直司、兼平恵、向井健太郎、伊井輝幸、井上秀隆

以上9名（敬称略）

【欠席委員】

林輝幸、山本章、佐々木千代子

以上3名（敬称略）

気高地域振興会議

【出席委員】

横田昭男、堀尾正、田中敦志、荒尾純子、水津文恵、三澤秀正、米田勝彦

以上7名（敬称略）

【欠席委員】

池長綾子、西尾雅彦、池原隆秋、下村益雄、松本弥生

以上5名（敬称略）

青谷地域振興会議

【出席委員】

高橋克己、鱸雅子、濱江康雄、奥谷吉男、鈴木光頼、瀧洋子、津本和美、松岡礼子、長谷川英二、上田洋子

以上10名（敬称略）

【欠席委員】

長谷川和郎、北村佳子

以上2名（敬称略）

事務局

鹿野町総合支所

徳岡支所長、乾副支所長兼地域振興課長兼教育委員会鹿野分室長、上野市民福祉課長、岡田産業建設課長、西浦地域振興課課長補佐

気高町総合支所

鈴木支所長、橋本副支所長兼地域振興課長兼教育委員会気高分室長、村上市民福祉課長、木下産業建設課長、中原地域振興課課長補佐

青谷町総合支所

山本支所長、武田副支所長兼地域振興課長兼教育委員会青谷分室長、秋田市民福祉課長、山本産業建設課長、中島水道局青谷営業所長、長田地域振興課課長補佐

都市企画課

山川都市企画課課長補佐、岡田都市企画課主幹

会議次第

- 1 開 会
- 2 議長選出及び委員紹介
- 3 会長あいさつ
- 4 協議事項
 - (1) 気高道の駅（仮称）整備事業について（都市企画課）
 - (2) 各地域（地域振興会議）の課題や取り組みについて
- 5 報告事項
 - (1) 西部地域の今後のイベント等について
- 6 その他
- 7 閉 会

議事概要

(1) 気高道の駅（仮称）整備事業について

【委員1】パブリックコメントにも出したが、道の駅を鹿野側に建設するのはなぜか。人口や交通量を考えれば気高側（上り線）が良いと思うが。また、ガソリンスタンドや電気自動車の充電設備などが必要ではないか。さらに、足湯であるが、JRのそばに温泉があるので、送水管整備の検討をする必要があるのではないか。

【事務局】当初からICの東西南北すべてを候補地として検討を行い、どの場所が一番リスクが少ないかという視点で検討しました。北側も有力な場所でありましたが、最近まで農林の国庫補助事業を行っていることもあり今後の農水省との関係等を懸念したことや、水道、下水道等のインフラ等の状況等を総合して現在の南東部に決定しました。ご理解をいただきたいと思います。

GSについては、中山間地域のエネルギー政策に関心を持っていることもあり、民業を圧迫しない前提で、道の駅へ誘致したいと考えています。それにより、鳥取西道路利用者に浜村・鹿野で降りてもらえるきっかけの一つと考えており、地域の方にも

利用していただきたいと考えています。

足湯も、地域の特色を出す仕掛けとして検討しています。現地をボーリングするとか、既存源泉を活用するとか、タンクローリー等で運搬するとか方法はありますが、最も維持管理が安く費用対効果の高い方法を検討したいと考えています。現時点では最終的に足湯の判断はできていません。整備推進委員会で判断を仰ぐこととなります。秋ごろには全容をお示しさせていただきます。

【委員 1】 サーファーを取り込めないだろうか。海産物、農産物の購入を含めてリピーターになってもらいたい。

【事務局】 このような運営面についても、今後検討していきます。

【委員 2】 原案と比べると駐車場が南向きになり、大型車がバック駐車となり、停めにくいのではないかと。また、防災面の機能とあるが、具体的にはどうか。

観光面であるが、特色のある道の駅として、亀井公のゆかりのある鹿野、気高、青谷地域の場所等を結んだ物語を作るなど、西部地域の周遊に繋がるものと考えてはどうか。

【事務局】 大型トラックの駐車場については、台数、配置等考えていきます。防災面については、必要最小限ではあるが、避難所機能、災害時備蓄品設置、停電時の電力供給等、今後しっかりと検討していきます。

亀井公ですが、テーマとしては面白いと思います。平成30年には指定管理者を決める予定ですので、その後に検討していきます。

【委員 3】 浜村地区は温泉掘削を制限している。浜村の上（南側）でボーリングすると影響はでないのか。

【事務局】 掘削すれば温泉が出るとはありますが、ボーリングの実施については白紙です。影響についても調査していきます。

【委員 4】 「気高」道の駅ではなく、やわらかい感じのする名称にしてほしい。公募してほしいと思う。また、計画の今後のスケジュールはどうか。

【事務局】 名称については、平成30年度に公募を考えています。

計画策定のスケジュールですが、平成26年度から27年度にかけ、基本構想・基本計画を策定しました。現在は、基本設計について議論しているところです。委員会等から意見をいただき、より具体的な設計をしていく予定です。平成28年度中にはお示しさせていただきます。

(2) 各地域（地域振興会議）の課題や取り組みについて

◆ 鹿野

鹿野地域のマップに、実施されている取り組みやイベントを記載した資料が示され、

その中で、鹿野らしい小中一貫校づくり、河内果樹の里山プロジェクト、公共交通の問題について重点的な説明があった。

◆**気高**

浜村温泉館の休館について、これまでの経過のほか、今後の西部地域の観光振興や活性化との関連等、どうあるべきか議論しているとの説明があった。

◆**青谷**

青谷高等学校が廃校となるという噂に対して、その噂は間違いであり、廃校ではなく学級減で対応するという県教委の方針や高校の現状等、4月の西部地域のPTA総会で説明した内容の説明及び報告があった。また、前回の地域振興会議より、著しい青谷地域の人口減少の対策として本年3月に策定した「青谷町版総合戦略」の推進のため、この戦略に関連した委員提案を実施しているとの説明があった。

【委員5】 公共交通（バス）について、現在どのような対策をとっているのか。

【事務局】 鹿野では今年度、小鷲河線を廃止しましたが、学生の休日の部活の行き来の時間帯にバス運行がないなど、影響がでています。検討中ではあるが大きな課題です。

気高では、鳥取駅から浜村駅経由鹿野線があるほか、気高循環バス、浜村駅から船磯経由青谷線が予約制の乗合タクシーで運行しています。必要な見直しは随時行っているところです。

青谷では、日置線、勝部線のバス路線がありますが、小学生の乗車がほとんどであり、一般の乗車は少ない状況です。赤字路線でもあることから、検討が必要だと思っています。

【委員6】 障がいのある方のことを考え、大きいバスだけではなく、呼べば来てくれるような車の導入を考えてほしい。